

2012 年 3 月期第 2 四半期決算説明会
代表取締役会長 CEO 辻本憲三説明要旨
(2011 年 10 月 28 日)

1. ご挨拶

(1) ご出席に対するお礼

- ・本日は、決算発表のシーズンを迎え、何かとご多用中のところ、当社の決算説明会にご出席いただきまして、誠にありがとうございます。

(2) 本日の説明内容

- ・本日、私からは、「第 2 四半期決算の業績総括」と「ソーシャルゲーム事業を中心としたグローバル組織体制の強化」、「来期の方向性」の 3 つについてご説明いたします。

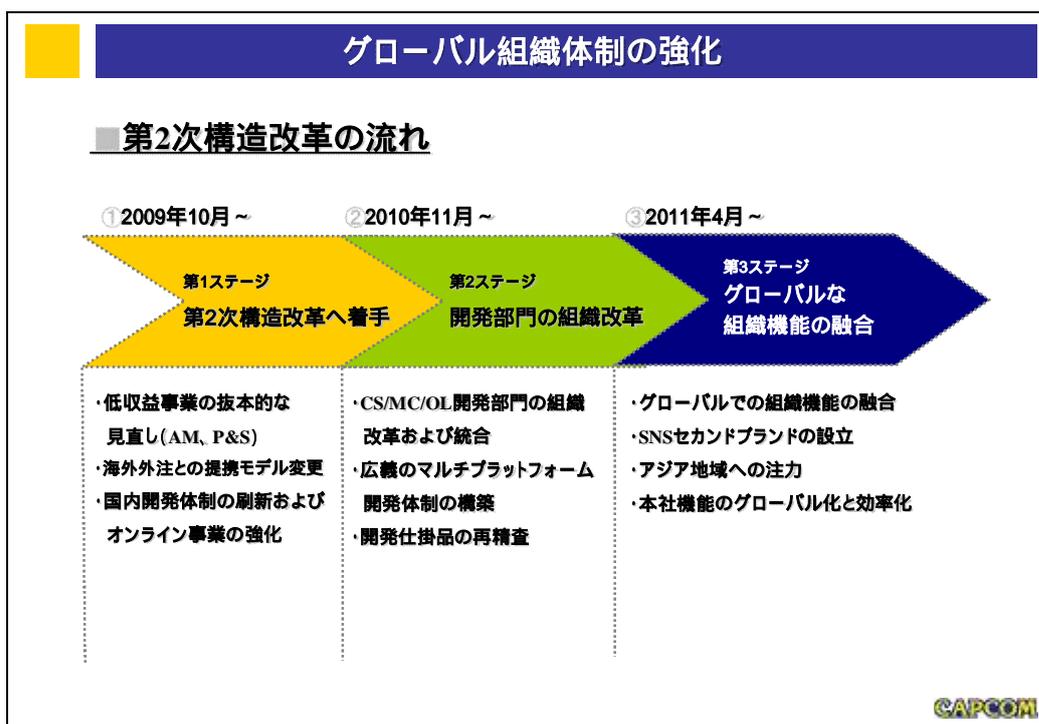
2. 第2 四半期決算の業績総括

2012年3月期第2四半期決算の業績総括			
■ 2012年3月期第2四半期決算の業績総括			
	2011/9期初計画	2011/9	期初計画比
売上高	26,000	29,252	112.5%
営業利益	700	2,782	397.4%
経常利益	600	1,907	317.8%
当期純利益	200	906	453.0%

CAPCOM

- (1) 最初に上期決算の概要ですが、期初の計画を大きく上回るとともに、9月14日付け業績修正予想数値も若干上回りました。
- (2) 主な修正要因としては、モバイルコンテンツ事業において、「スマーフ・ビレッジ」を中心にソーシャルゲームが好調であったことやアミューズメント施設事業の既存店売上が回復し、堅調に推移したことが挙げられます。
- (3) 詳細は社長からご説明いたします。

3. グローバル組織体制の強化



- (1) 次に、第2次構造改革最終の第3ステージとして、この上期の半年間で、成長戦略の要の一つである「ソーシャルゲーム事業」を中心にグローバルな組織体制を強化しました。

① グローバルでの組織機能の融合

- ・海外子会社の吸収合併
- ・海外子会社の組織変更

② ソーシャルゲーム事業の組織体制の強化

- ・ピーラインブランドの強化
- ・カプコンブランドの強化

CAPCOM

(2) グローバルでの組織機能の融合

- ・海外子会社の吸収合併

海外子会社の機能集約および合理化を図るため、販売子会社の「カプコン・エンタテインメント, INC.」を持株管理会社である「カプコン U.S.A., INC.」に吸収合併しました。

組織の重層化を解消することで、意思決定を迅速化し、南米地域などを含めた海外展開を推進していきます。

- ・海外子会社の組織変更

また、「カプコン U.S.A., INC.」の子会社であった「ピーライン・インタラクティブ, INC.」をカプコン本社の直轄管理とし、意思決定のスピードをさらに向上させることで、今後さらなる成長が期待できる海外ソーシャルゲーム市場において、引き続き成功を収めていきます。

(3) ソーシャルゲーム事業の組織体制の強化

・ビーラインブランドの強化

開発人員を増強し、タイトルラインナップの強化および、iOS（アイオーエス）とアンドロイドのマルチプラットフォーム展開を拡充していきます。

また、大型ライセンスタイトルを継続的に投入し、スマートフォン市場でのグローバルリーダーの地位を維持していきます。

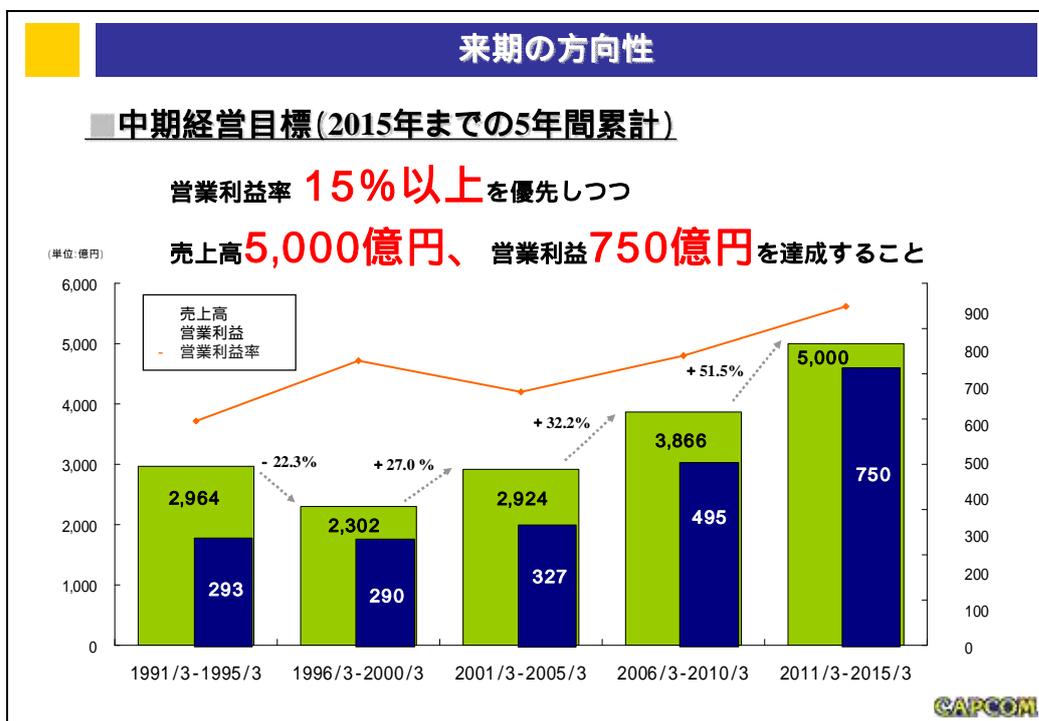
・カプコンブランドの強化

モバイルコンテンツ事業の組織において、「ソーシャルゲーム開発部隊」を新設したことで、今後、国内でのソーシャルゲームの開発スピードを加速させています。

とりわけ、マネタイズ（収益化）の仕組みを強化することで、海外と同様の成功を狙っていきます。

4. 中期経営目標について

(1) 中期経営目標の再確認



- ・ 当社は、中期経営目標として、2015年3月期までの5年間累計で「営業利益率15%以上を優先しつつ、売上高5,000億円、営業利益750億円」を掲げています。
- ・ これまでご説明してきたように、第2次構造改革および成長戦略の実施により、ソーシャルゲームやオンラインゲームを中心に着実に成果が出始めており、この中期目標に対して順調に推移しています。

(2)来期の方向性



- ・ 期初において、今期の業績予想が減収減益となるのは、
パッケージ市場が端境期であること
当社のタイトルラインナップも端境期であること
構造改革・成長戦略の本格的な貢献が来期からであることを
申しあげました。
- ・ また、中期経営目標を達成するためには、今期業績が期初計画通りに推移した
場合、2013年3月期から2015年3月期の3年間で売上高3,200億円、営業利
益490億円、1期平均では売上高1,000億円、営業利益160億円以上を達成し
なければなりません。
- ・ この2つの観点からも、来期は、成長戦略が結実の年、成長の年と位置付けて
進めています。
- ・ 現時点で具体的な来期の数字やタイトルラインナップは申しあげられませんが、
これらはタイミングを見て、順次発表してまいります。

以上をもちまして、私の説明を終わらせていただき、今後の具体的な戦略につきましては、
社長より説明させていただきます。